

令和2年度京都府がん検診受診率インターネット調査業務仕様書

1 調査の概要

別紙のとおり

2 ネットリサーチ業務

(1) 調査項目

性、年齢階層、居住市町村、加入医療保険、就業、がん検診受診状況、がん検診受診状況、がん検診受診のきっかけ、がん検診未受診理由、特定健診に関する内容、たばこ対策に関する内容等に対する状況

(2) 調査対象者

- ・40～69歳の男性、20～69歳の女性とする。

ただし、下記のとおり調査項目によって調査対象年齢が異なる。

調査内容	調査対象者
1 がん検診に関する調査 ・胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診 ・乳がん検診 ・子宮がん検診	40～69歳の男性及び女性 40～69歳の女性 20～69歳の女性
2 特定健診に関する調査	40～69歳の男性及び女性
3 上記1、2以外の調査 (たばこに関する内容)	40～69歳の男性及び20～69歳の女性

- ・回答数は合計6,000名程度で、地域別（保健所単位）で各最低100名以上の回答者を確保するように対象者を無作為抽出する。

- ・地域別（保健所単位）は以下のとおり

京都市（北区、上京区、左京区、中京区、東山区、山科区、下京区、南区、右京区、西京区、伏見区）

乙訓（向日市、長岡京市、大山崎町）

山城北（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町）

山城南（木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村）

南丹（亀岡市、南丹市、京丹波町）

中丹西（福知山市）

中丹東（舞鶴市、綾部市）

丹後（宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）

(3) 調査期間

調査期間は4週間程度とし、契約締結後速やかに実施する。

3 クロス集計業務

- ・府全域及び地域別（保健所単位）、年代、性別、就労別、医療保険者別に集計し、分析できるようにする。
- ・がん検診（胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診）ごとに受診率が集計できるようにする。

(1) 胃がん検診

対象者（40～69歳の男女）のうち、2年の間で、胃部エックス線検査（バリウム）、胃内視鏡検査（胃カメラ）、胃がんリスク検査、ABC検査のいずれか一つでも受けた人の割合

(2) 肺がん検診

対象者（40～69歳の男女）のうち、1年の間で、胸部エックス線検査（レントゲン検査）、喀痰細胞診、気管支鏡検査のいずれか一つでも受けた人の割合

(3) 大腸がん検診

対象者（40～69歳の男女）のうち、1年の間で、便潜血検査、大腸エックス線検査、大腸内視鏡検査のいずれか一つでも受けた人の割合

(4) 乳がん検診

対象者（40～69歳の女性）のうち、2年の間で、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）、乳房超音波検査（エコー検査）のいずれか一つでも受けた人の割合

(5) 子宮がん検診

対象者（20～69歳の女性）のうち、2年の間で、細胞診検査を受けた人の割合

- ・回答数及び構成割合の表を作成する。ただし、詳細については、回答状況を踏まえ、協議の上定める。
- ・実際の人口構成比に合わせるため、ウェイトバック集計を用いる。
- ・クロス集計データ及び個別データは京都府が指定する日までに電子データで提出する。提出形態は電子媒体（CD-ROM等）、提出場所は京都府健康福祉部健康対策課とする。
- ・クロス集計データはマイクロソフトエクセルで作成するものとする。

4 調査の分析業務

(1) 集計表の数値に基づく調査結果の文章化並びに集計表及びグラフの作成

なお、調査家かについては、府全域、地域別（保健所単位）、年代別、性別、就労別、医療保険者別に参照できるようにすること。

(2) 京都府との意見調整

(3) (2)に基づく文章、集計表及びグラフの加筆、修正

(4) 文章校正並びに集計表及びグラフのレイアウト構成

5 報告書作成業務

(1) 内容

上記4による報告書（報告書に用いた集計表やグラフはエクセルデータで別途提出）

(2) 提出形態

電子媒体（CD-ROM等）及び原紙1部

(3) 提出場所

京都府健康福祉部健康対策課

(4) 提出期日

委託期間内において京都府が指示する日

6 その他

調査が正しく実施されているかについて、京都府が履行確認できるようにすること。